

東北厚生局長 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学  
理事長 菊地 臣一

福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	97.5 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	340人	140人	411.9人	看護補助者	49人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	8人	7.9人	理学療法士	10人	臨床検査技師	62人
薬 剤 師	33人	0人	33.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	. 人	視能訓練士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	29人	0人	29.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	636人	27人	652.2人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	1人	3人	3.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	0人	事 務 職 員	97人
管理栄養士	9人	0人	9.0人	診療放射線技師	43人	そ の 他 の 職 員	71人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	576.5人	5.6人	582.1人
1日当たり平均外来患者数	1429.7人	35.4人	1465.1人
1日当たり平均調剤数			818.2剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	2人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	48人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
化学療法に伴うカフェイン併用療法	4人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	3人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要	該当なし	
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	145人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	74人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	118人	・原発性胆汁性肝硬変	158人
・全身性エリテマトーデス	394人	・重症急性膵炎	18人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	4人
・再生不良性貧血	105人	・混合性結合組織病	67人
・サルコイドーシス	206人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	76人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	255人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	179人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	8人	・肺動脈性肺高血圧症	35人
・潰瘍性大腸炎	212人	・神経線維腫症	45人
・大動脈炎症候群	35人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	70人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	39人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	80人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	22人
・悪性関節リウマチ	22人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	269人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	42人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	17人	・肥大型心筋症	86人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	11人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	80人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	94人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	11人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	347人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法(四肢骨折のうち、開放骨折及び粉碎骨折)	・
・画像等手術支援加算(実物大臓器立体モデルによるもの)	・
・悪性腫瘍組織検査(抗悪性腫瘍剤感受性検査HDRA法又はCD-DST法)	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月6回実施
部 検 の 状 況	部検症例数 30 例 / 部検率 8.20%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経再生軸策の分散・収束に関する実験的研究	上田和毅	形成外科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究	宇川義一	神経内科	700,000	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	杉浦嘉泰	神経内科	600,000	補委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	宇川義一	神経内科	1,500,000	補委 厚生労働省
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	宇川義一	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働省
新しい磁気刺激(QPS)による神経疾患治療の開発:その基礎生理と臨床応用	宇川義一	神経内科	3,500,000	補委 文部科学省
SACURA主研究Stage II 大腸がんに対する術後補助化学	竹之下誠一	器官制御外科学講座	0	補委 (財)先端医療振興財団
SACURA付随研究Stage II 大腸がんに対する術後補助	竹之下誠一	器官制御外科学講座	0	補委 (財)先端医療振興財団
Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての UFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第III相比較臨床試験 および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究 (ACTS-CC trial)	大木進司	器官制御外科学講座	0	補委 (財)先端医療振興財団
治療切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究 (研究略称: B-CAST)	大木進司	器官制御外科学講座	0	補委 (財)先端医療振興財団
リンパ節転移を予測する新規大腸癌マーカーの機能解析	竹之下誠一	器官制御外科学講座	686,820	補委 日本学術振興会
大腸癌におけるmiRNA発現がマイクロサテライト不安定性により及ぼす影響	中村泉	器官制御外科学講座	305,370	補委 日本学術振興会
胃癌リンパ節転移におけるマイクロRNAの発現と意義	齋藤元伸	器官制御外科学講座	777,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血管内治療のための大血管内遊離血栓と粥腫を補足する方法の研究	高瀬信弥	心臓血管外科	3,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
門脈血行異常症に関する調査研究	小原勝敏	内視鏡診療部	350,000	補委 厚生労働省
男性不妊症における転写因子複合体ネットワークの包括的解明と遺伝子治療への応用	小島祥敬	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	2,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
過活動膀胱の発生と前立腺におけるニューロモデレーションシステムの解析	相川 健	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	1,597,995	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腎癌におけるRNA干渉による免疫回避機構の解明と治療への応用に関する研究	石橋 啓	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
$\beta 2$ 受容体遺伝子多型が女性骨盤底機能障害患者の骨盤底筋収縮に及ぼす影響	穴戸啓一	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
動脈硬化症の膀胱機能に及ぼす長期的影響について	高橋則雄	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ゲノム薬理学に基づく前立腺肥大症薬物療法における個別化医療の確立	小島祥敬	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	400,000	補委 公益財団法人金原 一郎記念医学医療 振興財団
前立腺肥大症に対する個別化治療の確立	小島祥敬	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	5,000,000	補委 上原記念生命科学 財団
メタボリックシンドロームにおける過活動膀胱の病態メカニズム解明と新規治療薬開発	高橋則雄	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	1,000,000	補委 神澤医学研究振興 財団
ロボット支援下前立腺全摘除術－QOL向上に向けた術式の共同開発－	羽賀宣博	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	300,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平 成24年度研究支援 事業
腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術の治療実績	小島祥敬	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	2,600,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平 成24年度研究支援 事業
泌尿器生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節廓清術	小島祥敬	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	2,077,212	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平 成24年度研究支援 事業
膀胱虚血における求心性刺激とアンギオテンシンII受容体拮抗	矢崎順二	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平 成24年度研究支援 事業



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腎細胞がんに対するTocilizumabを用いた新たな治療法の開発	小黒俊樹	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	500,000	補 委 公立大学法人福島 県立医科大学 平 成24年度研究支援 事業
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	850,000	補 委 厚生労働省
髄膜腫の悪性サブグループの発生メカニズムを解明する	岸田悠吾	脳神経外科	1,700,000	補 委 独立行政法人日本 学術振興会
革新的医療機器開発実証事業 “ものづくりinふくしま”が創造する 生体模倣材料—超精密微細加工 製純チタン膜による硬組織再生	長谷川博	歯科口腔外科	53,000,000	補 委 福島県
2型糖尿病患者を対象とした血管 合併症制御のための強化療法と従 来治療とのランダム化比較試験(J- DOIT3)	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	1,380,000	補 委 (財)国際協力医学 研究振興財団
特定健康診査による個人リスク評 価に基づく、保健指導と連結した 効果的な慢性腎臓病(CKD)地域 医療連携システムの制度設計	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	19,850,000	補 委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	4,000,000	補 委 厚生労働省
戦略研究(腎疾患重症化予防のため の戦略研究)	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	400,000	補 委 厚生労働省
CKD進展予防のための特定健診と 特定保健指導のあり方に関する研究	渡辺 毅	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
慢性腎臓病の認知能低下における カルボニルストレスの病態と治療 に関する研究	中山昌明	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	800,000	補 委 文部科学省
放射性セシウム内部被曝が糖代謝 に及ぼす影響について	佐藤博亮	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	1,300,000	補 委 文部科学省
カリウム過剰摂取によるインスリン 抵抗性改善作用とその作用機序の 解明についての研究	佐藤博亮	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	1,400,000	補 委 公益財団法人ソルト ・サイエンス研究 財団
慢性腎臓病(CKD)に関する普及 啓発のあり方に関する研究	旭 浩一	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	100,000	補 委 厚生労働省
保存期慢性腎臓病の病態とリスク 管理における慢性間歇的低酸素 の意義の検討	旭 浩一	腎臓高血圧内科・糖 尿病内分泌代謝内科	1,200,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リジリエンスの評価及び育成による有効な生活習慣介入法	渡辺英綱	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	500,000	補委 文部科学省
東日本大震災による慢性腎臓病及び糖尿病疾患の健康被害に関する検討	田中健一	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科	2,000,000	補委 公益財団法人万有生命科学振興国際交流財団
脳内アナンドアミドが全身麻酔に及ぼす影響の検討	村川雅洋	麻酔科学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔薬の耐性とカンナビノイド関連薬剤	箱崎貴大	麻酔科学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
芍薬甘草湯の鎮痛作用機序の解明	井石雄三	麻酔科学講座	1,040,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Lipid Rescueはプロポフォールのプロドフラッグに効果はあるか	小原伸樹	麻酔科学講座	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学平成24年度研究支援事業育成研究
中枢神経系の局所麻酔薬中毒に対する脂肪乳剤の有効性	中川雅之	麻酔科学講座	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学平成24年度研究支援事業育成研究
532nmの励起光を用いた眼底自発蛍光の定量的解明	小島 彰	眼科学講座	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費
視細胞・網膜色素上皮細胞機能の定量解析による加齢黄斑変性発症機序の解明	分担:石龍鉄樹	眼科学講座	40,000	補委 日本学術振興会 科学研究費
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	棟方 充	呼吸器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
びまん性肺疾患に対する調査研究	棟方 充	呼吸器内科	300,000	補委 厚生労働省
軽微な線維化肺を用いた網羅的遺伝子発現解析による特異性	棟方 充	呼吸器内科	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
BetaglycanはTGF- $\beta$ の作用抑制を介し肺線維化を抑制する。	谷野功典	呼吸器内科	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学平成24年度研究支援事業
G蛋白質共役受容体アレイを用いた新規肺癌標的分子の探索	横内 浩	呼吸器内科	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属・部門	金額	補助元又は委託元
肺結核症における抗結核薬血中濃度測定の有用性の検討	大島謙吾	呼吸器内科	800,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
血管内皮細胞タイトジャンクションの動的評価によるウイルス関連急性脳症の病態の解明	細矢 光亮	小児科	2,500,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
腎糸球体の障害再生過程におけるM1・M2マクロファージの役割と再生促進因子の解明	川崎 幸彦	小児科	1,600,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
RSV感染症克服を目指した「RSV妊婦ワクチン」の基礎的研究	橋本 浩一	小児科	1,700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
ヒト上気道細胞モデルを用いた新規インフルエンザウイルス複製機序の解明とその抑制	佐藤 晶論	小児科	800,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
マウス胎仔の心エコー検査による胎児プログラミングの実証的研究	青柳 良倫	小児科	1,100,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性肺疾患発症予防への吸入ステロイド療法による炎症性細胞とサイトカインとの関連	今村 孝	小児科	700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
臍帯血中ヒトグルコシルコリドレゼクターの発現とステロイド抵抗性に関する検討	小笠原 啓	小児科	700,000	補 委 独立行政法人 日本学術振興会
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	細矢光亮	小児科	5,564,862	補 委 厚生労働省
プリオン病及び発症性ウイルス感染症に関する調査研究	細矢光亮	小児科	4,000,000	補 委 厚生労働省
ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立及び対策の向上に関する研究	細矢光亮	小児科	1,500,000	補 委 厚生労働省
脳薬物負荷3次元心エコーを用いた虚血性心疾患に対する診断法の確立	高野真澄	集中治療部	910,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
呼気凝集液を用いた術後肺障害因子の検討	今泉剛	集中治療部	500,000	補 委 公立大学法人福島 県立医科大学平成 24年度研究支援事 業育成研究
ラット髄核モデルにおける全身または局所ストレス負荷が及ぼす疼痛関連	関口美穂	実験動物研究施設	300,000	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
運動器の痛みの客観的評価表と有用な治療法の確立に関する研究	矢吹省司	リハビリテーションセンター	3,400,000	補委 日本学術振興会
胸部レントゲン写真読影精度向上の検討	石田 卓	臨床腫瘍センター	100,000	補委 公益財団法人 福島県保険衛生協会
わが国におけるがん登録の整備に関する研究	石田 卓	臨床腫瘍センター	300,000	補委 独立行政法人 国立がん研究センター
東北がんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法均てん化事業	石田 卓	臨床腫瘍センター	400,000	補委 厚生労働省
がん患者、家族の精神心理的ケアを重視したがん哲学外来の取組み	石田 卓	臨床腫瘍センター	1,000,000	補委 公益社団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
医療技術実用化総合研究事業	菊田 敦	臨床腫瘍センター	99,550,000	補委 厚生労働省
多発性内分泌腫瘍症1型および2型の診察実態調査と診断治療指針の作成	鈴木 眞一	甲状腺・内分泌外科	1,500,000	補委 厚生労働省
網羅的遺伝子発現解析による乳癌治療効果予測遺伝子セットの開発と臨床応用	大竹 徹	器官制御外科学講座	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成24年度研究支援事業
網羅的遺伝子発現解析による至適な乳房温存療法適応に関する研究	安田満彦	器官制御外科学講座	500,000	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成24年度研究支援事業
抗加齢に着目した難治性心不全に対する新しい治療法の開発	竹石恭知	循環器内科・血液内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心アミロイドーシスに対するICD併用自己末梢血管細胞移植の有用性の検討	小川一英	循環器内科・血液内科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新たな手法によるPNHクローンの拡大抑制に関する基礎的検討	七島 勉	循環器内科・血液内科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
バイオマーカーを用いた急性冠症候群の病態解明と早期診断確立に向けた研究	中里和彦	循環器内科・血液内科	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
PNHにおけるペプチドワクチンによる免疫療法の可能性	野地秀義	循環器内科・血液内科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HMGA2の造血器腫瘍異常クローン拡大・増殖における役割の解明	池田和彦	循環器内科・血液内科	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
急性骨髄性白血病における腫瘍マーカーと予後予測遺伝子セットの探索	松本勇人	循環器内科・血液内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性心不全に対する新たな治療戦略ーPDE3A過剰発現マウスによる検討ー	及川雅啓	循環器内科・血液内科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
心筋細胞傷害に対する新治療戦略:HMGB1マウスを用いた検討	鈴木 聡	循環器内科・血液内科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
自律神経叢修飾による新しい心房細動治療戦略の開発	上岡正志	循環器内科・血液内科	3,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
慢性心不全患者における心臓リハビリテーションの効果	佐藤崇匡	循環器内科・血液内科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	竹石恭知	循環器内科・血液内科	3,050,000	補委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器内科・血液内科	300,000	補委 厚生労働省
HMGA2発現による造血細胞の自己複製・増殖における分子機構の解明	池田和彦	循環器内科・血液内科	1,000,000	補委 財団法人ノバル ティス科学振興財団
二次性急性骨髄性白血病におけるマイクロRNAの役割	池田和彦	循環器内科・血液内科	1,500,000	補委 公益財団法人 先進医薬研究振興財団
MT1-MMPの役割からみた肺高血圧の分子病態と新規治療戦略	杉本浩一	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成24年度研究支援 事業
DPP-IV阻害薬による内因性幹細胞による心筋修復促進の試み	八巻尚洋	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成24年度研究支援 事業
低濃度一酸化炭素療法を用いた心腎連関における酸化ストレスに対する新たな治療法の開発	小林 淳	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成24年度研究支援 事業
白血病細胞のGPIアンカー膜蛋白の発現によるAMIの新たな層別化の試み	七島晶子	循環器内科・血液内科	500,000	補委 公立大学法人福島 県立医科大学 平成24年度研究支援 事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞死回避による免疫寛容誘導の機構解明とその展開	後藤満一	臓器再生外科	4,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞組織工学を用いた膵島細胞シートの多次元化によるインスリン分泌機能の構築	伊勢一哉	臓器再生外科	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞死に伴うHMGB-1を標的とした移植片長期生着効果の誘導	斎藤隆晴	臓器再生外科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植—膵島細胞シートの同種移植	山下方俊	臓器再生外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植—膵島細胞シートの異種移植	石井証	臓器再生外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
細胞分離用酵素剤の最適化とイオンチャネル制御の膵島移植への応用	穴澤貴行	臓器再生外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
食道癌センチネルリンパ節における樹状細胞活性化動態と Th17/Treg バランス	檜村省吾	臓器再生外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
膵島細胞シートを用いた複合型新生膵島組織の開発	清水裕史	臓器再生外科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
膵癌患者における骨髄由来抑制性細胞の影響と治療を介した免疫環境変動に関する検討	見城明	臓器再生外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新規免疫抑制療法を併用する臨床膵島移植の開発	後藤満一	臓器再生外科	51,211,045	補委 文部科学省 橋渡し研究支援推進プログラム
精度の高い臓器がん登録による診療ガイドラインや専門医育成への活用に関する研究	後藤満一	臓器再生外科	13,347,000	補委 厚生労働省
全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡制度の確立ならびにドナーとレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究	後藤満一	臓器再生外科	200,000	補委 厚生労働省
進行・再発膵癌に対する新規エビトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第 I / II 相臨床試験	後藤満一	臓器再生外科	2,500,000	補委 厚生労働省
標準療養不応の肺がんに有効な新規がんペプチドワクチン療法の開発と創薬展開	鈴木弘行	臓器再生外科	3,200,000	補委 厚生労働省
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究—診療動向と治療成績の変化—	後藤満一	臓器再生外科	200,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵島移植	後藤満一	臓器再生外科	30,000,000	補委 厚生労働省
食道癌における有効な癌壊死の誘導とHMGB1による癌免疫応答の展開	木暮道彦	臓器再生外科	500,000	補委 福島県立医科大学研究支援事業(育成研究)
iPS細胞由来キラー樹状細胞の分化誘導と効果的な新規細胞免疫療法法の樹立	長谷川剛生	臓器再生外科	500,000	補委 福島県立医科大学研究支援事業(育成研究)
iPS細胞を用いた頭頸部臓器再生技術の研究開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞由来気管上皮の作製と分化機構の解明	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
組織工学的手法を用いた気管再生における上皮形成メカニズムの解明	多田 靖宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
気道領域におけるヒト脂肪由来幹細胞と多血小板血漿を用いた臓器再生に関する研究	横山 秀二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
先天性サイトメガロウイルス感染による聴覚障害の治療長期予後に関する研究	松井 隆道	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
軟骨細胞及び軟骨膜細胞を利用した気管軟骨の再生に関する研究	野本 幸男	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト脂肪由来幹細胞の培養法の確立および組織再生技術の研究開発	鈴木 政博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
自家軟骨細胞を用いた喉頭の軟骨欠損部の再生	野本 美香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
線維芽細胞増殖因子を用いた気管再建	谷 亜希子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
気管・喉頭再生治療法の実用化推進研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	35,000,000	補委 厚生労働省
コラーゲンヒトリゲルを用いた人工気管に対する研究開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,500,000	補委 農林水産省
スキャフォールドと細胞を融合した気管の再生医療技術の研究開発	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,318,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構(JST)
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコーピー(NIRS)の有用性に関する研究	矢部博興	心身医療科	1,500,000	補委 国立精神神経医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	増子博文	心身医療科	4,000,000	補委 厚生労働省
原発事故における子どもの心の発達における影響について	増子博文	心身医療科	700,000	補委 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団
成人期の軽度発達障害患者における聴覚性感覚記憶の障害に関する研究	板垣俊太郎	心身医療科	500,000	補委 文部科学省
統合失調症死後脳における異常タンパクの半網羅的定量的プロファイル解析	園井素人	心身医療科	1,100,000	補委 文部科学省
統合失調症治療においてドパミン受容体遺伝子多型がドパミン代謝に与える影響	志賀哲也	心身医療科	500,000	補委 福島医大
統合失調症における脳脂質代謝の二次元解析	松本純弥	心身医療科	1,200,000	補委 文部科学省
成人期注意欠如/多動性障害の診断におけるCPTの有用性に関する研究	石川大道	心身医療科	500,000	補委 文部科学省
PTSD及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究	田子久夫	心身医療科	1,000,000	補委 厚生労働省
ドパミン系とグルタミン酸系との調節因子DARPPのコントローラーPin1の解析	日野瑞城	心身医療科	1,300,000	補委 文部科学省
ミスマッチ陰性電位(MMN)を認知機能検査として標準化するための臨床的検討	菅野和子	心身医療科	500,000	補委 文部科学省
福島県における大地震・原発事故複合災害の後の精神疾患の発生動向調査	和田 明	心身医療科	1,500,000	補委 先進医薬研究振興財団
聴覚性記憶痕跡をプローブとした統合失調症に対する磁気刺激法の効果の研究	矢部博興	心身医療科	500,000	補委 福島医大
統合失調症の社会認知機能の包括的評価法の開発	丹羽真一	心身医療科	1,000,000	補委 文部科学省
原発事故の低線量放射能被ばく後による精神疾患患者の身体科治療施設への受診動向調査と抑うつ・不安への治療的介入の研究	丹羽真一	心身医療科	3,000,000	補委 厚生労働省
包括型脳科学研究推進ネットワーク	丹羽真一	心身医療科	1,500,000	補委 文部科学省

計 15

合計 143

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Plastic Surgery	How to reconstruct a natural and deep umbilicus: three methods of umbilicoplasty for fove types of umbilical deformities	Kajikawa A	形成外科
Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery	Oral antithrombotic treatment and postoperative thrombotic complications after head and neck reconstruction using free flaps	Okochi M	形成外科
Exp Brain Res	Reduced interhemispheric inhibition in mild cognitive impairment	宇川義一	神経内科
Epilepsia	Different degrees of loss of function between GEFS+ and SMEI Nav 1.1 missense mutants at the same residue induced by rescuable folding defects	杉浦嘉泰	神経内科
Exp Brain Res	Increased primary motor cortical excitability by a single-pulse transcranial magnetic stimulation over the supplementary motor area	宇川義一	神経内科
Journal of Neuropathology & Experimental Neurology	Characteristics of Aquaporin Expression Surrounding Senile Plaques and Cerebral Amyloid Angiopathy in Alzheimer Disease	星 明彦	神経内科
BRAIN STIMULATION	Some evidence supporting the safety of quadripulse stimulation(QPS)	榎本 雪	神経内科
Clinical Neurophysiology	Bidirectional modulation of sensory cortical excitability by quadripulse transcranial magnetic stimulation(QPS) in humans	榎本 雪	神経内科
Cerebellum	Ataxic Hemiparesis: Neurophysiological Analysis by Cerebellar Transcranial Magnetic Stimulation	菊地サエ子	神経内科
J Neurophysiol	Conditioning intensity-dependent interaction between short-latency interhemispheric inhibition and short-latency afferent inhibition	宇川義一	神経内科
Neuro Sci	Neurophysiological analysis of cauda equina in POEMS syndrome	宇川義一	神経内科
Basal Ganglia	Motor cortical plasticity in basal ganglia disorders or movement disorders (editorial)	宇川義一	神経内科
Brain Stimul	Focal lesion in upper part of brachial plexus can be detected by magnetic cervical motor root stimulation	宇川義一	神経内科
Journal of Physiology	Homeostatic metaplasticity of corticospinal excitatory and intracortical inhibitory neural circuits in human motor cortex	村上丈伸	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurophysiol	Cortical hemoglobin concentration changes underneath the coil after single-pulse transcranial magnetic stimulation: a near-infrared spectroscopy study	古林俊晃	神経内科
Brain Stimul	Quadri-pulse stimulation induces stimulation frequency dependent cortical hemoglobin concentration changes within the ipsilateral motor cortical network.	グロイス純	神経内科
Fukushima J. Med. Sci.,	CLINICAL EVALUATION OF DENDRITIC CELLS VACCINATION FOR ADVANCED CANCER PATIENTS AT FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY	Izumi Nakamura	器官制御外科
ONCOLOGY REPORTS	Circulating myeloid-derived suppressor cells are increased and correlate to immune suppression, inflammation and hypoproteinemia in patients with cancer	Shinji Ohki	器官制御外科
ONCOLOGY REPORTS	UHRF1 expression is upregulated and associated with cellular proliferation in colorectal cancer	Yasuhide Kofunato	器官制御外科
Int J Cancer	NOS2 enhances KRAS-induced lung carcinogenesis, inflammation and microRNA-21 expression.	Hirokazu Okayama	器官制御外科
Cancer Res.	Identification of genes upregulated in ALK-positive and EGFR/KRAS/ALK-negative lung adenocarcinomas.	Hirokazu Okayama	器官制御外科
厚労省科研費補助金(難治性疾患克服研究事業)門脈血行異常症に関する調査研究 平成23年度研究報告書(分担研究報告書):29-31.2012.	門脈血行異常症に伴う食道・胃静脈瘤の病態と治療経過	小原勝敏	内視鏡診療部
Medicina 49(7) : 1194-1198, 2012.	肝硬変合併症の治療—食道・胃静脈瘤の内視鏡治療	小原勝敏	内視鏡診療部
International Journal of General Medicine, 5, 1009-1012, 2012.	A giant prostatic hyperplasia treated by open surgery.	小川総一郎	泌尿器科・副腎内分泌外科
Experimental and Clinical Transplantation, 10(1), 67-69, 2012.	Laparoscopic nephrectomy ex vivo angioplasty and renal autotransplant for a renal artery aneurysm: a case report.	小川総一郎	泌尿器科・副腎内分泌外科
Int Urol Nephrol, 44, 1611-1616, 2012.	Does periprostatic local anesthesia for prostate biopsy affect a prospective randomized trial.	羽賀宣博	泌尿器科・副腎内分泌外科
LUTS, 4(9), 9-13, 2012.	The association between severity of atherosclerosis and lower urinary tract function in male patients with lower urinary tract symptoms.	高橋則雄	泌尿器科・副腎内分泌外科
LUTS, 4(suppl 1), 81-86, 2012.	Effect of the Renin-Angiotensin System on the obstructed bladder.	相川 健	泌尿器科・副腎内分泌外科
Neurourology and Urodynamics, 31, 185-189, 2012.	Increased bladder activity is associated with elevated oxidative stress markers and proinflammatory cytokines in a rat model of atherosclerosis-induced chronic bladder	野宮正範	泌尿器科・副腎内分泌外科
Neurourology and Urodynamics, 31 195-200, 2012.	The effect of atherosclerosis-induced chronic bladder ischemia on bladder function in the rat.	野宮正範	泌尿器科・副腎内分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
泌尿器外科, 25(12), 2391-2394, 2012.	精巣腫瘍との鑑別から困難だった乳児精巣壊死の1例.	小川総一郎	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
臨床泌尿器科, 66(5), 335-338, 2012.	迅速病理診断にて精巣の温存が可能であった精巣類表皮嚢胞.	小黒俊樹	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
日本臨床検査医学会 日本大震災対策委員会 編「東日本大震災における臨床活動の記録集 2012. 36-40	「東日本大震災における臨床検査支援活動—記録と提言—東日本大震災、原発事故後の対応」	大花 昇	検査部
福島県臨床衛生検査技師会誌 50(83). 135-140. 2012	「血液像所見が早期診断に有効であった Capnocytophagacanimorsus敗血症の一症例」	斉藤洋子	検査部
福島県臨床衛生検査技師会誌 50(83). 132-134. 2012	「当院の過去1年間の呼吸機能検査における閉塞性換気障害の頻度と重症度評価」	遠藤由美子	検査部
福島県臨床衛生検査技師会誌 50(83). 141-146. 2012	「Acute erythroid leukemiaへの移行が疑われた MDS(RCMD)の一症例」	丹野大樹	検査部
日本臨床化学会東北支部会誌 21(1). 19-22. 2012.	「がん化学療法用尿酸分解酵素(ラスプリカーゼ)投与により血清尿酸値が経時的に低下した3症例—ラスプリカーゼが血清尿酸値測定に及ぼす影響—」	半沢雄助	検査部
Neurol Med Chir 52 (4): 224-228, 2012	Radiation-induced WHO grade 2 meningiomas in young patients following prophylactic cranial irradiation for acute lymphoblastic leukemia in childhood: three case reports and a review of the literature	織田恵子	脳神経外科
Biochem Biophys Res Com 433 (1): 139-144, 2013	A hypoxia-inducible factor (HIF)-3 $\alpha$ splicing variant, HIF-3 $\alpha$ 4 impairs angiogenesis in hypervascular malignant meningiomas with epigenetically silenced HIF-3 $\alpha$ 4	安藤 等	脳神経外科
J Neurosurg 118 (1): 195-201, 2013	Motor evoked potential monitoring of the vagus nerve with transcranial electrical stimulation during skull base surgeries	伊藤英治	脳神経外科
脳卒中の外科 40: 198- 201, 2012	超肥満患者のくも膜下出血の周術期管理	佐久間潤	脳神経外科
脳神経外科 40 (11): 979-983, 2012	経眼窩的に小脳および側頭葉下面に穿通した篠竹を30年後に摘出した1例	黒見洋介	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 22 (2): 109-116, 2013	難治性頭蓋底腫瘍の課題	齋藤 清	脳神経外科
Geriatric Neurosurg 25: 13-17, 2013	高齢者髄膜腫の治療方針と治療成績	齋藤 清	脳神経外科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(5), 690-696, 2012 Oct.	Mechanical stretch down-regulates expression of the Smad6 gene in cultured rat mesangial cells.	HAYASHI Yoshimitsu	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝内科
Diabetic Medicine, 29(4), 492-500, 2012 Apr.	Skin autofluorescence is associated with severity of vascular complications in Japanese patients with Type 2 diabetes.	TANAKA Kenichi	腎臓高血圧内科・ 糖尿病内分泌代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Hypertension, 25(9), 951-954, 2012 Sep.	Blood Pressure Control in Patients With Chronic Kidney Disease.	TANAKA Kenichi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Internal Medicine, 51(15), 1969-1976, 2012 Aug.	Clinical Outcomes of Japanese MPO-ANCA-related Nephritis: Significance of Initial Renal Death for Survival.	WATANABE Kimio	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Journal of Diabetes & Metabolism, 3(10),1000230, 2012.	Resistin Exacerbates Insulin Resistance under the Condition of Low Adiponectin in 3T3-L1 Adipocytes.	MACHII Noritak	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(5), 816-817, 2012 Oct.	The elevation of oxidative stress after the great East Japan earthquake.	TERAWAKI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(4), 629-635, 2012 Aug.	A lower level of reduced albumin induces serious cardiovascular incidence among peritoneal dialysis patients.	TERAWAKI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis, 16(3), 260-266, 2012 Jun.	Morning hypertension determined by self-measurement at home predicts left ventricular hypertrophy in patients undergoing continuous ambulatory peritoneal dialysis.	TERAWAKI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
BMC Nephrology, 13(1), 36, 2012 Jun.	Estimation of salt intake from spot urine samples in patients with chronic kidney disease.	TERAWAKI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(3), 427-432, 2012 Jun.	Home systolic blood pressure on the morning of dialysis days has prognostic impact for hypertensive hemodialysis patients.	TERAWAKI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical Endocrinology, 77(5), 707-714, 2012 Nov.	Identical germline mutations in the TMEM127 gene in 2 unrelated Japanese patients with bilateral pheochromocytoma.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Contributions to Nephrology, 177, 24-29, 2012 May.	Introduction and Maintenance Program for PD Based on PD Guidelines for Japan.	NAKAYAMA Masaaki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical Nephrology, 78(4), 281-286, 2012 Oct.	Do serum hepcidin-25 levels correlate with oxidative stress in patients with chronic kidney disease not receiving dialysis?.	NAKAYAMA Masaaki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Nephrology Dialysis Transplantation, 27(8), 3218-3223, 2012 Aug.	Pre-hypertension as a significant predictor of chronic kidney disease in a general population: the Ohasama Study.	NAKAYAMA Masaaki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(2), 244-249, 2012 Apr.	Risk factor profiles based on estimated glomerular filtration rate and dipstick proteinuria among participants of the Specific Health Check and Guidance System in Japan 2008..	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(2), 259-268, 2012 Apr.	Weight gain after 20 years of age is associated with prevalence of chronic kidney disease.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Clinical and Experimental Nephrology, 16(2), 279-291, 2012 Apr.	Cost-effectiveness of chronic kidney disease mass screening test in Japan.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical and Experimental Nephrology, 16(3), 415-420, 2012 Jun.	Performance of the Japanese GFR equation in potential kidney donors.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Diabetes Care. 35(6), 1310-1315, 2012 Jun.	Association of High Pulse Pressure With Proteinuria in Subjects With Diabetes, Prediabetes, or Normal Glucose Tolerance in a Large Japanese General Population Sample.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Lancet, 380(9838), 213-214, 2012 Jul.	Prevalence of chronic kidney disease in China.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Nephrology Dialysis Transplantation, 27(10), 3862-3868, 2012 Oct.	Glycohemoglobin not as predictive as fasting glucose as a measure of prediabetes in predicting proteinuria.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
American Journal of Kidney Diseases, 61(2), 197-203, 2013 Feb.	Collaborators Developing the Japanese Equation for Estimated GFR : GFR Estimation Using Standardized Serum Cystatin C in Japan.	WATANABE Tsuyoshi	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Internal Medicine, 52(4), 425-430, 2013 Feb.	The Clinical Applicability of Albuminuria Testing in Japanese Hypertensive Patients: The AVA-E Study.	TANI Yoshihiro	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Journal of Diabetes and Metabolism, 4(1), 1000237, 2013.	Pitavastatin Ameliorates Insulin Resistance in Type 2 Diabetic Patients : Report of Two Cases.	SATOH Hiroaki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Molecular and Cellular Endocrinology, 366(1), 108-116, 2013 Feb.	Interaction between resistin and adiponectin in the proliferation of rat vascular smooth muscle cells.	HIRAI Hiroyuki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
Peritoneal Dialysis International, 33(1), 8-14, 2013 Jan.	Nonuremic Indication for Peritoneal Dialysis for Refractory Heart Failure in Cardiorenal Syndrome Type II: Review and Perspective.	NAKAYAMA Masaaki	腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科
J Clin Monit Comput 27(1), 55-60, 2013	Validation of continuous and noninvasive hemoglobin monitoring by pulse CO-oximetry in Japanese surgical patients	Isosu Tsuyoshi	麻酔・疼痛緩和科
麻酔 62(3), 362-364, 2013	卵巣腫瘍に対する手術中に大量の胸水貯留による呼吸不全を来した1症例	堀 学爾	麻酔・疼痛緩和科
臨床麻酔 36(10), 1469-1472, 2012	超高度肥満患者に対する緊急脳外科手術の麻酔経験	井石雄三	麻酔・疼痛緩和科
蘇生 31(2), 82-84, 2012	Anesthesia for Emergency Treatment of Postoperative Bleeding after Head and Neck Surgery	Isosu Tsuyoshi	麻酔・疼痛緩和科
Anaesth Intensive Care 40(4), 725-6, 2012	Anaesthetic management using high-frequency oscillatory ventilation for a patient with tracheal and bronchial stenoses.	Nemoto Chiaki	麻酔・疼痛緩和科
Fukushima J Med Sci 58(1), 17-21, 2012	Local application of nucleus pulposus induces expression of P2X3 in rat dorsal root ganglion cells	Sato-Takahasi Kaoru	麻酔・疼痛緩和科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesthesiology 116(6), 1267-1277, 2012	AZD-3043: a novel, metabolically labile sedative-hypnotic agent with rapid and predictable emergence from hypnosis.	Talmage D. Egan	麻酔・疼痛緩和科
Am J Ophthalmol, , 153, 314-319, 2012.	Near-infrared autofluorescence in patients with idiopathic submacular choroidal neovascularization.	Toju R	眼科学講座
Jpn J Ophthalmol 56:152-158, 2012.	Demographic features of idiopathic macular telangiectasia in Japanese patients.	Maruko I	眼科学講座
Retina, 32:1250 -1259, 2012.	Intravitreal ranibizumab for exudative age-related macular degeneration with good baseline visual acuity.	Saito M	眼科学講座
Retina 32:1272 -1279, 2012.	Combined intravitreal ranibizumab and photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy.	Saito M	眼科学講座
Clinical Ophthalmology, 6, 1385-1391, 2012.	Angiographic results of retinal-retinal anastomosis and retinal-choroidal anastomosis after treatments in eyes with retinal angiomatous proliferation.	Saito M	眼科学講座
Am J Ophthalmol, 153, 504-514, 2012.	Combined intravitreal ranibizumab and photodynamic therapy for retinal angiomatous proliferation.	Saito M	眼科学講座
Invest Ophthalmol Vis Sci, , 53, 3834-3838, 2012.	Morphologic Analysis in Pathologic Myopia Using High-Penetration Optical Coherence Tomography.	Maruko I	眼科学講座
Allergology International	Exhaled Nitric Oxide (FeNO) as a Non-Invasive Marker of Airway Inflammation.	棟方 充	呼吸器内科
Respiratory Investigation	Respiratory medicine during the great East Japan earthquake and tsunami: what we as respiratory physicians can learn from Japan's complex 3.11 disasters.	棟方 充	呼吸器内科
American Journal of Respiratory and Cell Molecular Biology	Syndecan-4 Regulates Early Neutrophil Migration and Pulmonary Inflammation in Response to Lipopolysaccharide.	谷野功典	呼吸器内科
日本職業・災害学会誌	じん肺合併原発性肺癌79症例の臨床的検討	横内 浩	呼吸器内科
Journal of Asthma	Association of asthma education with asthma control evaluated by asthma control test, FEV1, and fractional exhaled nitric oxide.	斎藤純平	呼吸器内科
Respiratory Investigation	The relationship between 25-hydroxyvitamin D levels and treatment course of pulmonary tuberculosis.	佐藤 俊	呼吸器内科
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine	Impacts of the 3/11 disaster in Fukushima on asthma control.	福原敦朗	呼吸器内科
Am J Nephrol, 36(6),516-523,2012	Role of vascular endothelial growth factor and angiotensin 1 in renal injury in hemolytic uremic syndrome	大原信一郎	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Med Virol, 84(7),1135-1142,2012	Rhinovirus load and disease severity in children with lower respiratory tract infections	武山 彩	小児科
Transus Apher Sci, 47(1),43-47,2012	Maintenance of surface antigens and the absence of an apoptotic marker are observed during storage of granulocyte concentrates collected by bag separation method	赤井畑美津子	小児科
J Child Neurol, 27(12),1529-1533,2012	Survey of subacute sclerosing panencephalitis in Japan	阿部 優作	小児科
J Pediatr Endocrinol Metab, 26(1-2),77-84,2013	Glucocorticoid receptor expression in whole blood with preterm infants	郷 勇人	小児科
Pediatr Int, 55(1),65-71,2013	Clinical analysis of combination therapy for febrile neutropenic patients in childhood cancer	小林 正悟	小児科
Journal of Echocardiography 10, 81-82, 2012 Journal of Echocardiography	Giant left atrial thrombus caused by direct invasion of lung cancer	Masumi Iwai-Takano	集中治療部
循環器医学 21, 17-22, 2013	3Dアデノシン負荷心エコー図法による心筋リスクエリアの同定 パラメトリックイメージングの有用性	高野真澄	集中治療部
臨床整形外科47, 4, 2012	環椎後弓椎骨動脈溝の定量的研究	茂呂貴知	整形外科
Hip Joint, 38, 2012	当院におけるステム側の人工股関節再置換術の短期成績	青田恵郎	整形外科
日本整形外科学会雑誌, 86, 11, 2012	慢性疼痛における心理的因子の評価	関口美穂	実験動物研究施設
日本疼痛学会雑誌 28, 1, 2013	頸椎症性脊髄症における脊髄障害性疼痛症候群	矢吹省司	リハビリテーションセンター
European Spine Journal, 22, 4, 2012	Limprost alfadex and nonsteroidal anti-inflammatory drugs for sciatica due to lumbar spinal stenosis	Onda A	整形外科
Clinical Calcium, 22, 4, 2012	Spine surgery for elderly patients with lumbar spinal stenosis	Kato Kinshi	整形外科
Annals of Diagnostic Pathology. 16, 5, 2012	Intraosseous spindle cell hemangioma of the calcaneus: a case report and review of the literature	Hakozaki Michiyuki	整形外科
日本外科学会雑誌	内分泌外科稀少疾患の日本の現状把握と診療指針の作成	鈴木眞一	甲状腺・内分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本外科学会雑誌	福島原発事故への医療対応最前線 福島原発事故後の 県民健康管理調査、とくに甲状腺検査について	鈴木眞一	甲状腺・内分泌外科
日本内分泌・甲状腺外科学 会雑誌	多発性内分泌腫瘍症1型-治療、サーベイランス	鈴木眞一	甲状腺・内分泌外科
Breast Cancer	Pathological aspects of the intraductal spread of breast cancer.	Tohru Ohtake et al.	器官制御外科学講 座
Circulation Journal 76 (9), 2153-2158, 2012	A single night' beneficial effects of adaptive servo- ventilation on cardiac overload, sympathetic nervous activity, and myocardial damage in patients with chronic heart failure and sleep-disordered breathing	義久精臣	循環器内科・血液 内科
Experimental Hematology & Oncology 1 (1), 28, 2012	A Japanese case of chronic lymphocytic leukemia with t(1;6)	原田佳代	循環器内科・血液 内科
Fukushima Journal of Medical Science 58 (2), 101-106, 2012	Uric acid increases the incidence of ventricular arrhythmia in patients with left ventricular hypertrophy	山田慎哉	循環器内科・血液 内科
Fukushima Journal of Medical Science 58 (2), 136-143, 2012	A reduction of coronary flow reserve is associated with chronic kidney disease and long-term cardio- cerebrovascular events in patients with non- obstructive coronary artery disease and vasospasm	坂本信雄	循環器内科・血液 内科
Internal Medicine 51 (18), 2559-6254, 2012	Dilated phase of hypertrophic cardiomyopathy caused by two different sarcomere mutations, treated with surgical left ventricular reconstruction and cardiac resynchronization therapy with a defibrillator	佐藤彰彦	循環器内科・血液 内科
International Heart Journal 53 (4), 249-252, 2012	Intrathoracic impedance changes reflect reverse left ventricular remodeling in response to cardiac resynchronization therapy in chronic heart failure patients	金城貴士	循環器内科・血液 内科
International Heart Journal 53 (4), 257-260, 2012	Inducibility of atrial fibrillation caused by acute increase of atrial pressure in rat diseased heart with chronic atrial dilation	鈴木 均	循環器内科・血液 内科
International Heart Journal 53 (5), 306-312, 2012	High sensitivity C-reactive protein predicts nonresponders and cardiac deaths in severe heart failure patients after CRT implantation	上岡正志	循環器内科・血液 内科
Journal of Cardiology 60 (3), 222-227, 2012	Adaptive servo ventilation improves Cheyne- Stokes respiration, cardiac function, and prognosis in chronic heart failure patients with cardiac resynchronization therapy	宮田真希子	循環器内科・血液 内科
Journal of Cardiology Cases 6 (4), e100-e102, 2012	Importance of multi-detector computed tomography for percutaneous coronary intervention in a patient with type V dual left anterior descending artery	横川哲朗	循環器内科・血液 内科
PLoS ONE 8 (1), e53133, 2013	Long pentraxin PTX3 exacerbates pressure overload-induced left ventricular dysfunction	鈴木 聡	循環器内科・血液 内科
Cardiovascular Intervention and Therapeutics 28 (1), 87- 90, 2013	Deep seating of 5 Fr. guiding catheter across the stenosis with 5 in 7 method was effective for severely calcified lesion	星野寧人	循環器内科・血液 内科
American Journal of Cardiology 112 (1), 94- 99, 2013	Clinical features of patients with decompensated heart failure after the Great East Japan Earthquake	山内宏之	循環器内科・血液 内科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Coronary Artery Disease 24 (2), 110-118, 2013	Age-related oxidant stress with senescence marker protein-30 deficiency plays a pivotal role in coronary artery spasm	星野寧人	循環器内科・血液内科
日本内科学会雑誌 101 (2), 465-467, 2012	妊娠中期に心不全増悪を来し、帝王切開にて出産したFontan術後の1例	小林 淳	循環器内科・血液内科
福島県医師会報 74 (7), 506-514, 2012	福島県急性心筋梗塞発症登録調査2011年集計	八巻尚洋	循環器内科・血液内科
心臓 44 (10), 1301- 1306, 2012	非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) が有効であった肺高血圧合併肥満低換気症候群の1例	近藤 愛	循環器内科・血液内科
J Hepatobiliary Pancreatic Science	Phase I trial of preoperative intratumoral injection of immature dendritic cells and OK-432 for resectable pancreatic cancer patients.	Endo Hisahito	臓器再生外科
Fukushima Journal of Medical Science	Incidental early lung adenocarcinoma after surgery for catamenial pneumothorax.	Higuchi Mitsunori	臓器再生外科
Islets	Preservation of pancreatic islets in cold UW solution before transplantation.	Ishii Show	臓器再生外科
gastric cancer	CD83(+) dendritic cells and Foxp3(+) regulatory T cells in primary lesions and regional lymph nodes are inversely correlated with prognosis of gastric cancer.	Kashimura Seigo	臓器再生外科
Cell Transplantation	Adenine nucleotide levels in a closed enzymatic digestion system for porcine islet isolation.	Oshibe Ikuro	臓器再生外科
Pancreas	Mitomycin- C treatment significantly reduces central damage of islets in culture.	Saito Takaharu	臓器再生外科
Digestive Surgery	Activation of the sonic hedgehog pathway and its prognostic impact in patients with gastric cancer.	Saze Zenichiro	臓器再生外科
Cell Transplantation	A model to evaluate toxic factors influencing islets during collagenase digestion: the role of serine protease inhibitor in the protection of islets.	Tsukada Manabu	臓器再生外科
Cell Transplantation	Mizoribine as Sole Immunosuppressive Agent in Islet Xenotransplantation Models: A Candidate Immunosuppressant Causing no Adverse Effects on Islets.	Yamashita Michitoshi	臓器再生外科
Acta Otolaryngol	Collagen vitrigel scaffold for regenerative medicine of the trachea: Experimental study and quantitative evaluation.	多田 靖宏、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Acta Otolaryngol	Outcome of cochlear implantation in children with congenital cytomegalovirus infection or GJB2 mutation.	松井 隆道、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Surg Oncol	Intraoperative molecular assessment for lymph node metastasis in head and neck squamous cell carcinoma using one-step nucleic acid amplification(OSNA) assay.	松塚 崇、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Ann Otol Rhinol Laryngol	Regeneration of tracheal epithelium using a collagen vitrigel-sponge scaffold containing basic fibroblast growth factor.	谷 亜希子、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Laryngoscope	Bioengineered prosthesis with allogenic heterotopic fibroblasts for cricoid regeneration.	野本 幸男、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Otolaryngol Head Neck Surg	Surgical treatment of laryngeal papillomatosis using narrow band imaging.	今泉 光雅、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Ann Otol Rhinol Laryngol	Potential for respiratory epithelium regeneration from induced pluripotent stem cells.	大槻 好史、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部外科	センチネルリンパ節生検.	松塚 崇、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Possible cause of mesolimbic dopamine hyperactivity	NSC-induced D-neurons are decreased in striatum of schizophrenia	Ikemoto K	心身医療科
Medicinal Chemistry	Are D-neurons and trace amine-associated receptor, type 1 involved in mesolimbic dopamine hyperactivity of schizophrenia?	Ikemoto K	心身医療科
Journal of Behaviour and Brain Science	D-cell hypothesis: Pathogenesis of mesolimbic dopamine hyperactivity of schizophrenia.	Ikemoto K	心身医療科
World Journal of Neuroscience	"D-cell hypothesis" of schizophrenia: possible theory for mesolimbic dopamine hyperactivity.	Ikemoto K	心身医療科
Journal of Neurology and Neurophysiology	Why D-neuron? Direction from psychiatric research.	Ikemoto K	心身医療科
Open Journal of Psychiatry	Why D-neuron? Importance in schizophrenia research.	Ikemoto K	心身医療科
Progress in NeuroPsychopharmacology and Biological Psychiatry	Increased ratio of calcineurin immunoreactive neurons in the caudate nucleus of patients with schizophrenia.	Wada A	心身医療科
Open Journal of Psychiatry	DNA methylation of the Monoamine Oxidases A and B genes in postmortem brains of subjects with schizophrenia.	Yang Q	心身医療科
日仏生物学会誌	統合失調症の中脳辺縁ドーパミン系過活動に対する「D-細胞仮説」	池本桂子	心身医療科
総合病院精神医学	精神疾患の神経病理学 統合失調症の「D-細胞仮説」	池本桂子	心身医療科
日本神経精神薬理学雑誌	D-ニューロンとト्रेसアミン:統合失調症の病態への関与	池本桂子	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
成人期の自閉症スペクトラム診療実践マニュアル	第6章 成人期におけるASDの鑑別診断	板垣俊太郎	心身医療科
Psychiatry Clin Neurosci	Effective surgical intervention for schizophrenia-like symptoms and low event-related potentials caused by arachnoid cyst.	Shiga T	心身医療科
Psychiatry Clin Neurosci.	Worsening of manic state in patients with bipolar I disorder following the Fukushima disaster.	Kunii Y	心身医療科
Psychiatry Clin Neurosci	Serial changes in cerebral blood flow single photon emission computed tomography findings during memory retrieval in a case of psychogenic amnesia.	Kunii Y	心身医療科
Mol Psychiatry	Revisiting DARPP-32 in postmortem human brain: changes in schizophrenia and bipolar disorder and genetic associations with t-DARPP-32 expression.	Kunii Y	心身医療科
アーユルヴェーダ研究	こころと魂の健康法(特別寄稿)	熊代 永	心身医療科
老年精神医学雑誌	リバスチグミンパッチへの期待と投与症例より得られた知見	小林直人	心身医療科
神経疾患の磁気刺激治療の可能性, 医学のあゆみ	幻聴への磁気刺激治療応用	志賀哲也	心身医療科
精神科診断学	福島県における震災・原発事故後の精神科医療	和田 明	心身医療科
日進堂印刷所	第1回福島災害医療研究会記録集	堀 有伸	心身医療科
臨床精神医学	整形外科における不定愁訴	増子博文	心身医療科
精神神経学雑誌	発達障害とパーソナリティ障害	増子博文	心身医療科
精神科	疼痛性障害—精神科と整形外科との連携—	増子博文	心身医療科
臨床精神医学	福島県における震災ストレスと不安・抑うつ—精神科外来における新患調査から—	三浦 至	心身医療科
Journal of Clinical Psychopharmacology	Effects of aripiprazole and the Taq1A polymorphism in the dopamine D2 receptor gene on the clinical response and plasma monoamine metabolites level during the acute phase of schizophrenia.	三浦 至	心身医療科
SURGERY FRONTIER	大震災および福島第一原発事故後のメンタルケア報告—福島県沿岸地域における精神医療の現状と今後の課題—	矢部博興	心身医療科
Human Psychopharmacology: Clinical and Experimental	Effect of switching to risperidone after unsuccessful treatment with aripiprazole on plasma monoamine metabolites level in the treatment of acute schizophrenia.	Miura I	心身医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床精神医学	福島県における震災ストレスと不安・抑うつ 精神科外来における新患調査から	三浦 至	心身医療科
北大路書房	第6章 身体疾患と心身症 8 緊張型頭痛60の ケースから学ぶ認知行動療法	本谷 亮	心身医療科
Locomotive Pain Frontier	Clinical Question Q1 オペラント条件づけと疾 病利得とはどのようなものですか？	本谷 亮	心身医療科
Fukushima. J. Med. Sci	Changes in the Condition of Psychiatric Inpatients After the Fukushima Disaster.	Wada A	心身医療科
精神科	統合失調症患者の強迫症状に対しparoxetine が有効であった3症例	和田 明	心身医療科
日本社会精神医学会	東日本大震災後の福島県における精神科入 院患者の病状変化と新入院患者の動向	和田 明	心身医療科
日社精医誌	福島原発事故	丹羽真一	心身医療科
Pharma Medica	災害ストレスとPTSD 災害医療の観点から	丹羽真一	心身医療科
Pharma Medica	統合失調症の最新研究3. 統合失調症の治療戦 略	丹羽真一	心身医療科
日本医師会雑誌	ニコチン依存症の病態	丹羽真一	心身医療科
精神医学	東日本大震災・福島第一原発事故と精神科医 の役割 第1回 連載開始にあたって	丹羽真一	心身医療科
Clinical Neuroscience	東日本大震災・福島第一原発事故による避難 生活と睡眠障害	丹羽真一	心身医療科
日病薬誌	薬剤師に必要な精神疾患の基礎知識 第4回 統合失調症	丹羽真一	心身医療科
Practice of Pain management	Interview & Talk 施設紹介 福島県立医科大 学リエゾンカンファレンス 他科との連携	丹羽真一	心身医療科

計 14

合計 186

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 棟方 充
管理担当者氏名	医療情報部長 向本 時夫

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部等	患者ごと又は記録ごとに分類し管理・保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	記録ごとに分類し管理・保管している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	病院経営課		
	閲覧実績	病院経営課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携・相談室		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課		
	第規一則号第一に掲げる十の体制第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	記録ごとに分類し管理・保管している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染制御部		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療連携・相談室		

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	記録ごとに分類し管理・保管している。	
	第一条の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための委員会の開催状況		感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況		医薬品安全使用部会
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況		医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況		医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		医薬品安全使用部会
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況		臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況		臨床工学センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		臨床工学センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 棟方 充
閲覧担当者氏名	病院経営課長 猪俣 太一郎
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 3 階 病院経営課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.5 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		10,139 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,512 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,830 人
	D: 初診の患者の数		18,581 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 安全管理に関する基本的考え方</li><li>2 医療事故防止対策委員会、その他の組織に関する基本的事項</li><li>3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</li><li>4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>7 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること</li><li>2 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告する</li><li>3 重大な問題が発生した場合に、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</li><li>4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</li></ol></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<p>医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。</p></li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 当院で発生した事故を委員会への報告する</li><li>2 あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析する。これにより当院における問題点を把握して、当院の組織としての改善策の企画立案及びその実施状況を評価し、当院においてこれらの情報を共有する</li><li>3 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する</li></ol></li></ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (4) 名</li><li>活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること</li><li>2 事故等にかんする診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行う</li><li>3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う</li><li>4 事故等の原因究明が適切に実施されて居ることを確認するとともに、必要な指導を行う</li></ol></li></ul>	



- 5 医療安全に係る連絡調整に関すること
- 6 その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項</li><li>3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</li><li>4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること</li><li>2 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者へ報告する</li><li>3 院内感染が発生した場合は、速やかに発生原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</li><li>4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ☑・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 院内のみでは対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合に、地域の専門家等に相談が行われる体制の確保</li><li>2 院内感染対策マニュアルの定期的な見直し</li></ol>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	④・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 1 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 2 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 3 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( ④・無 ) ・ 業務の主な内容： 1 医薬品の採用・購入に関する事項 2 医薬品の管理に関する事項 3 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6 他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ④・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品に係る情報のうち、必要なものは当該情報に係る医薬品を取り扱う従業者に迅速かつ確実に周知徹底を図る (ex. DIニュース、医療安全ニュース、院内報)	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年125回
・ 研修の主な内容： 1 医療機器の有効性・安全性に関する事項 2 医療機器の使用方法に関する事項 3 医療機器の保守点検に関する事項 4 医療機器の不具合等発生した場合の対応に関する事項 5 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 毎日点検 1 患者使用後点検 1 回/年・業者による点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 添付文書等の管理 2 医療機器に係る安全性情報等を当該医療機器に携わる者に適切に提供する 3 病院管理者への報告	